

各 位

上場会社名	アンドール株式会社
代表者	代表取締役 笹淵裕司
(コード番号)	4640)
問合せ先責任者	管理部長 齊藤征志
(TEL)	03-3243-1711)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、22年5月17日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,710	80	70	50	9.65
今回発表予想(B)	1,850	90	100	120	23.16
増減額(B-A)	140	10	30	70	
増減率(%)	8.2	12.5	42.9	140.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	1,311	△95	△8	31	6.12

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	850	45	40	35	6.76
今回発表予想(B)	900	54	55	65	12.55
増減額(B-A)	50	9	15	30	
増減率(%)	5.9	20.0	37.5	85.7	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	840	△51	△11	11	2.30

修正の理由

当期前半は、景気刺激策の効果等により景況感の持ち直し傾向にありましたが、海外の景気動向や金融市場に新たに懸念材料があることから、情報サービス産業も先行き不透明感から脱しておりません。このような状況の下、当社グループは子会社取得による拠点の再編を含めた営業力の強化、管理コスト削減等、業績の回復と利益の確保に努めております。

通期の売上高は、当社のプロダクツ事業において、利益率の高い自社開発ソフトの売上高が順調に推移し、エンジニアリングサービス事業においても、首都圏を中心に売上高の回復が見られ当初予想を上回る見通しであります。

利益面においては、エンジニアリングサービス事業で一部地方拠点に計画差異が生じたものの、プロダクツ事業及びエンジニアリングサービス事業の子会社2社が堅調であったため営業利益は当初予想を上回る見通しとなります。当期純利益につきましても、事業業績に応じた人件費コストの見直し等により、当初予想を上回る見通しとなっております。

※ 本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上